

真田

真田で楽しく！元気に！暮らしたい人のための月刊フリーペーパー

いきいき♪

生き生き ふるさと通信

第3号 2010年5月15日発行【真田地域に全戸配布】

撮影 スタジオセブン佐藤和雄



下段左から、れんちゃん／ななみちゃん、みうちゃん、ひなくん／みやびちゃん

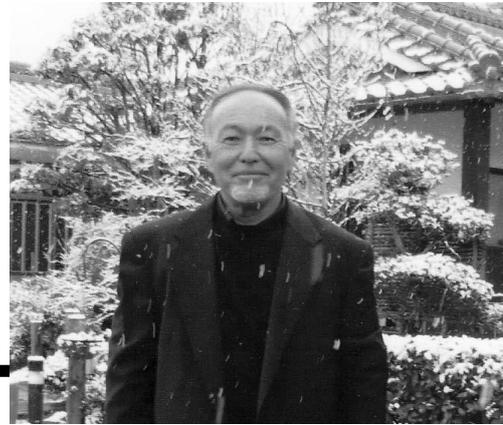
大きな写真で登場したのは、田中徠^{らいき}喜くん（5歳）と理乃^{りの}ちゃん（もうすぐ2歳）。下郷沢自治会の仲良し兄妹です。お兄ちゃんのVサインをしっかりと握って、いつもいっしょだね。

真田地区の新生児、新成人、還暦、100歳の方の写真を募集中！掲載は無料です。掲載希望の方は、巻末に記した編集部まで写真を送付いただくか、メール（kawaraban@ued.janis.or.jp）にデータを添付ください。

今月の
クローズアップ

「2010 御屋敷つつじ祭り」 真田氏発祥の郷真田の魅力アップへ

真田氏三代ヒストリープロジェクト
代表 飯島崇夫さん(商工会本原支部長)



●安全に楽しい時間を過ごす

「真田三代ヒストリープロジェクト」を有志により立ち上げ、真田氏発祥の郷である御屋敷



公園(真田氏館跡)で真田氏の歴史、活躍を懐古する「2010 御屋敷つつじ祭り」を開催することとなりました。

このお祭りは、地域住民が真田氏の価値を再認識し、郷土愛を育むとともに、全国に真田氏発

祥の郷を発信し、地域の活性化につなげることを目的にしています。

また、「つつじ祭り」は、「上田市わがまち魅力アップ応援事業」の一環として実施します。これは、地域の課題の解決や活性化のために、自治会や市民活動団体が自主的・主体的に取り組む活動に対し、上田市が補助金により応援す

御屋敷つつじ祭り案内図



るものです。

今回のつつじ祭りでは、初の試みとして、5月10日(月)~31日(月)まで御屋敷神殿をライトアップするとともに、つつじの花もライトアップします。

ぜひ皆様お誘い合わせの上、ご来場ください。

突然ですが ゆるキャラ紹介!



かり丸くん

「かり丸くん」は、真田家の家紋から生まれたキャラクターです。真田家には、一般的に有名な六連銭(六文銭)のほか、お祝い事などの祭事に用いた「結び雁金」という家紋があります。このカリ(がん)をモチーフにした「かり丸くん」は、鳥の体を持ち、頭には六連銭と鹿角をあしらった兜をかぶって、幸運をもたらします。

生みの親は、地元の会社と連携した商品開発を考えている真田雁丸屋(株式会社ティーアイジー、TEL0268-23-7313)。代表取締役の塚田泰裕さんは、「『かり丸くん』を登場させることにより、少しでも真田氏に興味にもったお子さんが増えればと思っています。また、観光客が増え、地域の活性化を図る一員となればと思っています」と話しています。



「三ツ頭獅子」をご存知ですか？



真田の伝統芸能の一つに、「三ツ頭獅子」があります。

信濃の国小県郡本原村上原(現在の
上田市真田町本原旧上原区)に伝
わる「三ツ頭獅子」は、天文年間
(1532~1554) 真田禅正幸隆が初
めてこの地に居館を築造・起工した
際に、村人喜び地固めの祝いとし
て、古くより伝わっている獅子を舞
い踊ったものと言い伝えられてい
ます。

その後、天正12年、真田氏が上

田に築城入部以来廃館となりましたが、真田安房守昌幸が旧館跡に皇大神社を還座し守護神として、年々8月16日を例祭日と定め、その前夜祭に神前において演舞していました。

明治維新後は、例祭日を9月26日と改めて、その前夜祭に行うことになりました。

なかでも「上原三ツ頭獅子」は、真田(本原)の地に古くから伝わるため、上田城下町の獅子の元になったと伝えられています。三ツ頭獅子は、1985年のNHK新大型時代劇「真田太平記」及び、2006年の「その時歴史は動いた」にも出演しました。

真田には、この三ツ頭獅子を継承する「三ツ頭獅子保存会」があり、活発に活動しています。これからは、御屋敷公園及び三ツ頭獅子を広く全国の方に紹介するため、県内外の行政関係者に働きかけるとともに、大阪城や九度山町などで三ツ頭獅子の奉演準備を進めています。「2010 御屋敷つつじ祭り」でも演舞しますので、どうぞご観覧ください。



土地・建物の事なら、お任せ下さい！

**COUNTRY
HOUSE21**

カントリーハウス21

上田市真田町本原 1967-33(担当:石井)

いきなりホットライン:080-5108-9701

宅地建物取引業:長野県知事(1)第5169号

広告募集中！

(1枠3,000円)

行ってきました！



今回の訪問先は

認知症高齢者グループホームです

真田町には、認知症高齢者が数人で暮らすグループホーム（認知症対応型共同生活介護）が、4か所あります。

今回訪ねたのは、長野県初の民家を改修して平成10年に開設された「曲尾グループホーム」です（写真上）。地域の古い民家をそのまま活用しているため、施設というよりは“我が家”であることを感じられる、あたたかいホームです。



ひなたぼっこ

訪ねた日はポカポカ陽気。お住まいの皆さんは、縁側で、世間話に花を咲かせ、おいしいお茶の時間を過ごしていました。天気の良い日が増えて、みんなでお茶を飲む機会が増えるといいですね。



地域の方々に感謝！



「見慣れない高齢者が歩いていたので声をかけさせて頂いたところ、返事がなかったのでおかしいと思い、曲尾グループホームに電話をいれました」と話すのは、JA信州うえだ傍陽サービスステーションの皆さん。見守ってくださる地域の方々に感謝！

散歩の出会い

散歩をしていたら、途中でお会いした荒木さんのお宅の水仙の花が見事に咲いていました。「水仙の花をたくさん切って飾ってくださいね」と声をかけていただき、遠慮なくいっぱいいただきました。おいしいお茶もいただき、ありがとうございました！



グループホームを運営する「アザレアンさなだ」の統括スタッフ、清水俊子さんは、「利用者一人ひとりの心に寄り添って、いっぱい感謝・感激・感動を味わうことを目標にしています。そのために、チームワークを大切にしながら、介護の関係だけではなく『お互いさま』の心を大切にしています」と話します。



認知症やグループホームに関するご相談は、
真田地域包括支援センターへ、お気軽にご相談ください。

☎ (0268) 72-8055 **有線 2080**

上田市真田町長7190（総合福祉センター内 社会福祉協議会）

おらが **1番!**

真田に住む方々の“プチ自慢”を聞く ◆第5回◆

ゆうか
飯島優華ちゃん（5歳・中原自治会在住）をインタビュー!!!

あたしは、保育園の年長さんなの。お絵かき大好き!おうちや、お友だちがたくさんいる「さなだ保育園」で、いっぱいお絵かきしているの。おひめ様やお花、それからハートもいっぱい描いているの。ピンク色が好き。お名前も書けるようになったんだよ。描いた絵はおうちの壁にいっぱい飾ってあるよ。これからもういっぱい、いっぱい描くの。

お休みの日には、前の畑で葉っぱを採ってお面を作ってるよ。お外も好きなんだよ。

でも、あたしの一番のご自慢はおうちのみんな。ママやとうちゃん(パパ)、おじいちゃん、ひいおばあちゃん、そしてお姉ちゃん、みんな大好き!!



伝言板

専用ホームページを開設しました!

http://www.azarean.jp/Group1/Contents/0402_nissei_kouho.aspx/

「真田活き活きふるさと通信」のバックナンバーが読めるほか、この通信発行のきっかけとなった、「ニッセイ財団高齢社会先駆的事業～ハイブリット・ケア(地域分散型サテライトケア)の展開と新たな地域づくり」の詳細についても、わかりやすく紹介しています。ぜひアクセスください!



老人ホーム入所申込者の実態調査を行います

ニッセイ財団高齢社会先駆的事業の一環として、真田地域の特別養護老人ホーム待機者に対する実態調査を行い、実現可能な待機者対策事業を模索するために、「特別養護老人ホーム入所申込者実態調査委員会」が3月30日に発足しました(事務局:アザレアンさなだ)。高齢者福祉行政、研究者、医療・福祉関係者で構成されており、7月にアンケート用紙を対象者へ発送するとともに、ヒアリング調査も実施する予定です。調査のお願いがお手元に届きましたら、ぜひともご協力を賜りたく、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

訪問看護師 (パートタイマー) 募集中!



詳細についてはお問い合わせ下さい。

訪問看護ステーション真田

上田市真田町長7141番地1

電話0268-72-2910

(お問い合わせ 月~金 8:30~17:30)

雨漏れ・塗替え・家の廻りの事、ご相談ください!!

地域の皆様に愛されて30年

(有)長野工商

上田市真田町傍陽岡保

電話 24-6551



全国防水工事業協会会員 上小広告美術塗装事業共同組合員
知事許可(般21)第016042号 一級防水・塗装技能士

気になるあの店



信州長野の地酒専門店

「地酒屋 宮島 酒店」

「信州醸熟和酒の会」会員店

真田町長 5913-1 TEL: 72-4039

OPEN 9:00~19:00

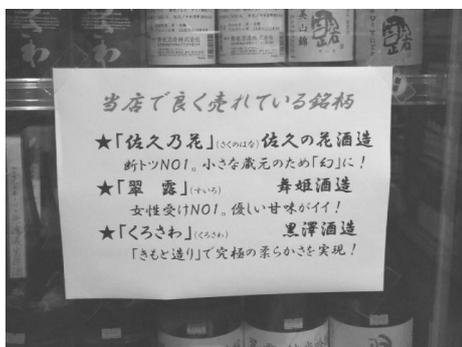
定休 毎週火曜日

ネットショップ <http://www.mssakaya.com/>

宮島酒店で扱うお酒は長野県産のみ。他では扱っていない限定品を豊富に取り揃えたラインナップ。冷でもお燗でもおいしいものが産地別に並べられた、こだわりの陳列。このスタイルを15年かけて築き上げた店主、宮島国彦さん（利き酒師）は、県内一の品揃えを自負します。

店内は暗めですが、雰囲気を出すためではなく、とてもデリケートなお酒のために、紫外線をカットし、店の窓も閉じて、いつでも新鮮な日本酒を楽しめるように配慮しているそうです。最高級の大吟醸や、日本酒の年代物の“古酒”も目を引きます。季節酒といわれる、四季折々の日本酒を楽しむ女性も増えているとか。お客様の中には、棚の端から一つずつ味を確かめていくという方もいらっしゃるそうです。

お酒の大好きな店主のこだわりをもっと知りたい方は、お店のホームページをご覧ください！



読者の交差点

▼赤ちゃんからお年寄りまで、素敵なお紙が印象的です。おすすめの散歩道など教えてほしいです。(Mさん)

▼真田に住んでいても、知らないことがたくさんあることに読んでいて気づかされます。(Nさん)

編集後記 ●満開の桜に突然の大雪、大風。「この桜吹雪が目に入らぬか！」吹雪も桜もしっかり目に入りました。通信目に入っていますか。[小林 彰] ●グループホームではいろいろな発見がありました。皆さんも尋ねてみませんか。[村上陽一] ●幹だけだった木々に、こんなにもさまざまな緑色があるかと思うほど新緑の、真田の山々の美しさに癒されています。[島崎真知子]

発行元：「真田 生き生きふるさと通信」編集部

事務局：高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ内

〒386-2201 上田市真田町長 7141-1 TEL 0268-72-2781 FAX 0268-72-4702

E-mail kawaraban@ued.janis.or.jp

ホームページ[http://www.azarean.jp/Group1/Contents/0402_nissei_kouho.aspx/](http://www.azarean.jp/Group1/Contents/0402_nissei_kouho.aspx)

通信を読まれてのご意見、ご感想をお寄せください。次号は2010年6月15日の発行です。